

平成30年度 新規採択要望箇所の概要

1. 事業概要

事業名	県営農地整備事業
事業箇所	祖谷一期地区(南砺市祖谷ほか地内)
事業量	受益面積 30.4ha
事業内容	区画整理(大区画化)30.4ha
総事業費	14億円
予定工期	平成30年度～平成38年度

2. 事業の必要性

・本地区は、昭和30年代に団体営ほ場整備事業により10アール区画に整備されているが、小区画で機械作業の効率が悪く、農道の幅員も狭いため、農作物及び資材の運搬等に苦慮しており、効率的な農作業を行うための妨げとなっている。また、用排水路の一部が土水路となっており、水管理や維持管理に多大な労力を要している。

・このため、効率的な営農の基盤を整備することにより、①新たな担い手への農地集積・集約化、②大型農業機械の導入等による米の生産コスト削減、③用水路のパイプライン化やICTを活用した自動給水栓の導入と法人による水管理の一元化による水管理の合理化・省力化、④経営の安定化を図りつつ、体質強化の観点から、近隣で生産が拡大しているたまねぎやJA福光の戦略品目に指定されているアスパラガスの導入による経営の複合化・多角化に向けて取り組むものである。

【現況10a(32m×30m)区画→計画50a(100m×50m)区画】

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

・南砺市祖谷集落が事業実施を契機として、農地集積に向けた検討や整備内容のとりまとめなど、話し合いによる合意形成を地区一体となって進めてきている。

・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施し、農地集積の加速化や農業経営の安定化に資する。[新たな担い手(2法人)の育成]

・担い手への農地集積率(現在3.1%)を97.4%へ引き上げる目標としている。(県全体H28末: 57.6%、南砺市73.0%)

4. 事業の投資効果

・費用便益比(B/C) 1.19

※作物生産、営農経費節減による便益
 (その他の費用便益として表せない効果)

- ・農業経営の安定化
- ・水管理のICT化による多様な水管理や水路転落事故の防止
- ・耕作放棄の発生防止

5. 推進体制

・南砺市、福光町土地改良区から要望あり。

・祖谷地区準備委員会、福光町土地改良区、南砺市、JA福光、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

